

書名		ONE WORLD English Course	17 教育出版
項目			
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○基礎的知識と技術を4技能別の Activity で身につけさせながら、会話表現や4技能の統合的な活用力を養うように工夫している。</p> <p>○各 Lesson ごとに到達目標が明示され、言語活動の意義を常に理解でき、積極的に取り組む態度を育成するように構成されている。</p> <p>○身近な日常生活のやりとりを中心に、日本の伝統文化から国際理解へと広がる様々な話題・題材を、学習活動と関連させて提示し、英語に対する興味・関心を深めながら、世界と繋がる受信力と世界に向けての発進力を育成する工夫がなされている。</p>		
特色	内容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <p>○全学年が Unit で構成され、1つの Unit に4つの Lesson がある。セクションが4つあることで、本文の内容（会話の内容）にストーリー性が広がり、生徒も身近なこととして学ぶことができる。</p> <p>○各 Lesson は Hop, Step, Jump の3段階で構成され、Hop では「聞く」「話す」「書く」活動を、Step では「読む」活動を行うようになっている。Jump では、Task で振り返り、Project で統合的な学習に取り組むようになっている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○Project や各課に配置されている Task では、既習の文法事項などを活用して自分に置き換えて表現するなどの活動を通して、コミュニケーション能力を高めることのできるよう工夫されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○別冊 Essentials には赤色のマスキングシートが付いていて新出重要単語を意欲的に学ぶことができるよう工夫されている。また PLUS Dialog, Plus Activity では、基本文の定着や発展的な活動が含まれていて習熟度別少人数指導等の場面でも活用が期待できる。</p> <p>○各単元ごとに目標が明示されており、学んだことを実際にどのようにいかしていくのかわかりやすい。また各学年の巻末の Can-Do リストを使うことで、1年間を振り返って自己評価することができる。</p> <p><外国語を通じて、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力を育成する工夫></p> <p>○通常の単元において、基本的な4技能を育成するための題材がある。また4技能を、さらに伸ばすことを意図した Tips という単元が配置されている。また Task では4技能を用いたコミュニケーションにおける自己表現の場が設定されており、発表活動などに活用できる。</p>	
	資料	<p>○全体を通してデザインが統一されており、イラストや写真を多用している。各学年の巻末に様々表現活動用の語彙・英語表現等がカラーイラストで紹介されている。1学年ではPCキーボードの運指表あり。全学年に Can-Do 自己チェックリストあり。カラーユニバーサルデザインの配慮が効果的にされている</p> <p>○中学生の興味関心の高い題材が取り上げられており海外文化・名所や日本の伝統文化、生命、平和、福祉などについて考えさせることが期待できる。</p>	
	表記・表現	<p>○1学年の Lesson6 までブロック体、それ以降は活字体を使用。2・3学年では、Tips, Reading, 付録でブロック体を、それ以外は活字体を使用。また日記・スピーチ・手紙文では手書き風の字体。1学年で単語にアクセント付記。2・3学年で発音記号が併記。発音記号を使用した音の分類がある。</p>	
	総括	<p>○それぞれの Lesson が2つの Hop, 2つの Step で構成され、Jump 等で活用する3段階構成で、基礎知識・技術を定着させ、さらに Project で統合的な表現活動を行う構成。またさらに応用力、活用力を向上させるため別冊 Essentials が各学年についており、補充学習、宿題多様な活用が期待できる。</p>	

